

since 1920

# 運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社  
東京都荒川区西日暮里3-6-10  
佐々木ビル3F 〒116-0013  
TEL03-5685-0035  
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2  
〒541-0048 TEL06-6209-3261  
発行人・野口香織  
火・金発行(祝日を除く)  
3,600円/月(送料・税込)

2020年

8月18日(火)

第17325号

全国132店舗で営業中!

## トランクルームの 押入れ産業

〒105-0004 東京都港区新橋6-16-10 御成門BNビル9F  
TEL 03-6402-0410 honbu@oshiire.co.jp

### 2021年3月期第1四半期と通期見通し

単位=億円、%

	売上高	前期比	営業利益	前期比
日本郵便	9,258	△2.0	204	△49.3
近鉄エクスプレス	1,405	3.6	79	100.7
センコー	1,333	△2.8	42	△15.3
GHD	5,850	2.6	202	△2.2
鴻池運輸	708	△8.7	8	△76.4
福山通運	688	△4.4	49	△5.3
上組	2,805	△4.3	170	△17.2
三井倉庫	647	△8.6	58	△11.9
HD	2,740	△1.7	238	△3.6
H D	565	△7.3	32	△4.7
住友倉庫	2,240	△7.1	107	△9.4
H D	472	0.3	24	△9.3
住友倉庫	1,780	△7.2	85	△23.4
ニッコン	410	△19.2	28	△46.8
H D	2,000	0.2	200	△4.3
日新	344	△32.9	△3	—
	1,470	△25.5	1	△97.2
トナミHD	316	△5.9	10	△32.6
	1,300	△5.9	48	△29.7
丸全昭和	292	△4.0	23	15.4
運輸	1,270	3.4	93	4.8
名鉄運輸	263	△8.9	2	△82.4
	1,110	△5.2	29	△38.5
日本トランスシティ	239	△5.6	6	△34.7
	975	△4.1	24	△28.1
ヤマタネ	129	△7.7	7	△23.3
	507	△7.4	23	△31.2
ケイヒン	117	△2.2	7	28.8
	464	△2.7	19	0.0
エスライン	116	△5.1	1	△40.8
	466	△5.0	10	△2.3
安田倉庫	111	△1.9	6	△25.9
	500	7.2	25	△28.0
丸運	111	△11.5	△0.4	—
	481	△5.1	6	△43.4
岡山県	93	△12.5	2	△66.0
貨物運送				

### 物流各社

## 通期営業利益2割減

### 利益の戻りは遅いと予想

上場物流企業の2021

1年3月期第1四半期決算

算は、これまで30社が発

表しているが、売上高は26社が減収、営業利益は25社が減収となり、減収の平均幅は7.2%、減益の平均幅は24.4%となった。

減益幅は縮小するが、それでも減収の平均は4.1%。物流の売上高を24兆円とすれば、約1兆円が目減りすることになる。減益の平均は19.3%で、第1四半期時点より5.5%戻すのみの予想

をしており、年度全体で前年度の営業利益の2割が奪われるとみている。景気回復の時期について、運輸新聞が独自にヒアリングしたところ、年明けと答えたところは少なく、少なくとも1年、場合によっては完全に回復するには2~3年かかるという企業も少なくない。

りも5%戻すのみの予想をしており、年度全体で前年度の営業利益の2割が奪われるとみている。景気回復の時期について、運輸新聞が独自にヒアリングしたところ、年明けと答えたところは少なく、少なくとも1年、場合によっては完全に回復するには2~3年かかるという企業も少なくない。

の世界的な感染拡大に歯止めがかからない中、特に輸出では大きく下振れする可能性が高い。運賃・料金の動向は、これまで高水準で推移していた一般および特種トラックは、20~4、18~3%まで大きく低下した。7~9月は1%ずつ戻しと4%を見込む。また値上りの方が多いのがポイント。緩やかな運賃上昇に変化はないと

020年3月期)。これによる2021年3月期業績への影響は、22年3月期も5カ月間は契約を継続し、今後新規顧客の誘致を進め、被書をうまく和らげる、かわすといった知恵を絞るしかないだろう。

## NEDO ドローン物流へ新たな研究段階

# 長時間飛行や運航管理統合

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、ドローンの社会実装に向けた新たな研究開発に着手する。目視外および第三者上空での安全基準策定や、物流での活用に対応した長時間飛行のためのエネルギーマネジメントシステム、運航管理システムの機能拡張、衝突回避システムの小型化・低消費電力化に取り組む。

安全基準策定は、機体規模や運航方法などユーザーに合わせた必要となる性能や安全性に関する性能評価基準とその検証方法を研究するとともに、求められるセキュリティ対策基準を検討する。

可能とする周辺システムの研究開発を行う。運航管理システムは、多数のドローンが同一の空域を飛行するため、各運航管理機能間で飛行計画・空域情報・飛行状況を共有する統合機能の拡張を行う。加えて、全国規模で整備されている既存の地図情報や気象情報などを運航管理統合機能に取り込み、運航事業者向けサービスを提供する。

一方、離島など単独長距離飛行を行う運航管理機能は、準天頂衛星システムの補強信号を含むマルチGNSS(全球測位衛星システム)により取得した高精度な位置情報による自律制御を開発する。

衝突回避システムの小型化・低消費電力化は、2017年度から準天頂衛星システムを用いて航空機同士が飛行情報(高度・位置・速度など)を相互に通信し共有する技術開発を行ってきたが、今年度からは準天頂衛星システム受信機およびアンテナの小型・軽量化、低消費電力化を行い、これらを活用して衝突を回避する技術を開発する。

NEDOは昨年、相対速度時速100km/h以下の衝突回避試験を行っている。

システム受信機およびアンテナの小型・軽量化、低消費電力化を行い、これらを活用して衝突を回避する技術を開発する。

### 日通総研短観

## 4~6月△65 リーマンに次ぐ低水準

### 9月大底でさらに下振れも

日通総合研究所は、企業物流短期動向調査(日通総研短観6月調査)を発表、国内荷動き指数の4~6月実績は△65となり、1~3月実績△38より27%低下した。また前回(3月)調査の見通し△35からは30%下振れしている。「コロナ・ショックの影響を大きく受け

た結果、4~5月における経済活動の抑制策の実施が荷動きを大きく下押しした」と説明。△65はリーマン・ショック直後の2009年1~3月に記録した△75(02年の調査開始以降最低水準)に次ぐ低い水準だ。7~9月見通しは△62と3%改善する見

込みだが、「さらに下降し大底となる可能性が高い」として、△75前後の水準まで低下する、と指摘。

業種別をみると、1~3月より改善した業種は皆無で、全15業種でそれぞれ改善が見込まれているが、戻しきれず下振れの可能性が高い、

もマイナスとなり悪化している。7~9月見通しは業種・地域・輸送機関でそれぞれ改善が見込まれているが、戻しきれず下振れの可能性が高い、

輸出入貨物量は、大幅な低下がみられ軒並み△50を下回った。7~9月見通しでは、小幅な改善を見込むが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に歯止めがかからない中、特に輸出では大きく下振れする可能性が高い。

数十年に1度の大雨と表現される「大雨特別警報」は2013年に運用開始されてから7年で16回も出されていて、毎年2回は発令されていることになる。その都度川の氾濫、堤防決壊、土砂崩れ、家屋浸水などの被害をもたらしており、尊い人命も失われている。国や自治体は、各種のハザードマップを作成しているが、例えば「洪水ハザードマップ」では浸水被害を被る地域が一目瞭然となっており自分が住んでいる場所の危険度かわかる。特に最近の水害ではバックウォーター現象によるものが多く、支流が本流に流れ込んでいる合流地点で本流の増水により支流の流れ込みが堰き止められたり逆流したりして堤防決壊を起している。大雨洪水警報や大雨特別警報が出された際の事前の住民避難というソフト面の対策とともに、これから百年の計で危険な地域の土地利用制限、安全な場所への住み替え、合流地域でのバックウォーター現象を和らげるための遊水地の確保、支流の水をほかに流すパイパス流路の確保、堤防の高上げ、本流流域で川幅の狭くなっている箇所を拡幅工事などハード面の改良が必要だ。今まで経験した知識の蓄積で被害をうまく和らげる、かわすといった知恵を絞るしかないだろう。

### 日本生協連との業務委託契約解消へ

ケイヒンは、日本生活協同組合連合会(日本生協連)との間で締結していた通販事業の業務委託契約(流通加工・配送業

務)を来年8月20日付で解消すると公表した。日本生協連の物流センター移転に伴い協議を重ねた結果、合意に至った。受託業務にかかわる売上高は7億9500万円、同社連結売上高に占める割合は15.3%(2020年3月期)。

これによる2021年3月期業績への影響は、22年3月期も5カ月間は契約を継続し、今後新規顧客の誘致を進め、被書をうまく和らげる、かわすといった知恵を絞るしかないだろう。



Y-T(20・8・18)